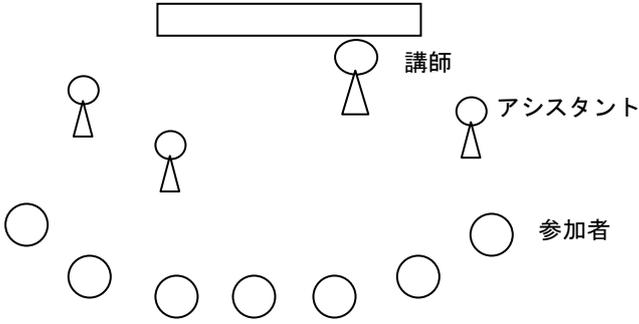


30歳の自分は？「キャリアデザインワーク」

指導計画

	内容	留意事項
<p>教室配置</p>	 <p>The diagram illustrates a U-shaped classroom arrangement. At the top center, there is a rectangular box representing a whiteboard or screen. Below it, a stick figure labeled '講師' (Lecturer) stands facing the participants. To the right of the lecturer is another stick figure labeled 'アシスタント' (Assistant). Along the bottom and left sides of the U-shape, there are several circles representing '参加者' (Participants). The arrangement is designed to ensure that all participants have a clear view of the lecturer and the whiteboard.</p>	<p>参加者は、互いに顔が見えやすいよう馬蹄形に並んで着席する。ホワイトボードとスクリーン、書画カメラを準備し、参加者全体から見やすい位置に配置する。</p>
<p>情報保障</p>	<p>概要説明のみ手話通訳及びパソコンノートテイクを配置する。グループワークでは、手話や筆談など、直接コミュニケーションが取れる手段を用い、互いにやりとりするよう心がける。また、発表時にも全員にわかるコミュニケーション手段を用いるよう徹底し、記入したワークシートを指さしながら、丁寧に説明するよう指示する。</p>	
<p>進行・展開</p>	<p>○グループワーク及びワークシートの概要説明 (15分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートの記入例をスクリーンに投影し、キャリアデザインの目的、進め方、記入方法を説明する。</li> <li>・この際、参考となる項目リストを配布し、この研修で学んだことを振り返るとともに、社会人になったときに求められる力について説明し、これらを参考にシートに記入していくことを伝える。</li> </ul> <p>○ワークシート作成作業 (100分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の夢に向かってどんなアクションを取れるか考えていくため、まず一番上の「30歳のわたし(ビジョン)」をできるだけ具体的に記入させる。この際、講師は下記のような発問を投げかけ、参加者が具体的にイメージしていけるよう援助する。</li> </ul> <p>&lt;発問の例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・30歳といえば、就職して何年でしょうか？</li> <li>・そのときあなたはどんな仕事をしたいですか？</li> <li>・会社での立場はどうなっていますか？</li> </ul>	

- ・同じ部署には何人の上司、同僚、後輩がいますか？
- ・上司にはどんな仕事を任されていると思いますか？
- ・その仕事をしているとき、どんな気分ですか？
- ・周囲の人にはどんな風に思われているのでしょうか？
- ・毎日の生活はどんな感じですか？
- ・何時に起きて、何時に会社を辞めますか？帰宅は？

・ビジョンの記入が終わったら、下記の通り、上から下に1段ずつ記入をうながす。

1)「ビジョンにむけてのゴール」の記入

ビジョンの達成に向けて、必要な知識や経験、資格、スキル等を左枠に、これらを達成するためにサポートしてくれそうな人や組織、機関等の情報を右枠に記載する。

2)「ろう・難聴であるゆえに必要なゴール」の記入

同様に、ろう・難聴であるがゆえに必要な知識や経験・スキル、これらを身につけるためにサポートしてくれそうな人や組織・機関等の情報を記入する。

3)「ゴールにむけたアクション」の記入

ゴールに記載した4つの枠の中から、それぞれ一つずつ課題を取り上げ、これを達成するためにやりたいアクションを記載する。

4)「今日から実行できるアクション」の記入

3)に記載した各アクションに取り組んでいくため、今日から実行することのできる具体的な行動を記入する。この欄はできる限り具体的に想像させ、実際に実行可能なレベルにまで落とし込めるよう援助する。

・記入に行き詰まっている学生がいる場合には、ファシリテーターやアシスタントが声をかけ、さまざまな発問を投げかけながら学生の考えを引き出し、記入をうながす。

・ワークシートは下書きと清書の二枚を用意する。まずは下書き用紙に記入させ、全体が完成した時点で清書に記入する。清書は発表時にスクリーンに投影するため、黒色のサインペンで大きくはっきり書くよう伝える。

○発表&フィードバック (60分)

・書画カメラを用いてワークシートをスクリーンに投影し、1人ずつ全員の前で内容を発表する。

・発表後、学生同士による質疑応答を行う。この際、発問シートの最後にあるようなルールを設け、学生の主体的な質問・コメントを引き出す。

リソース	・ビジョン達成シート ・「ビジョンに向けてのゴール」の記入に参考となる項目リスト ・キャリアデザインワーク発問リスト	
------	--	--

この資料は、日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク(PEPNet-Japan)エンパワメント事業の活動成果です。